

幼稚園舎構造の一考察

守 安 了

一、幼稚園舎の復舊及新築

戦災都市の幼稚園は大半が焼失しているらしく、且つ復興に當つては、學校建築の方が先になり、或は園舎を新制中學の校舎に假使用するなど、幼稚園が取残され勝ちなことは、誠に遺憾千萬である。併し昨今になつて、ボツリ／＼と新築を見る様にもなり、或は保育所が設置せられて來ている模様で、茲に之等幼兒を收容する建物に就いて、卑見を申述べることも、あながち徒勞の事でもあるまいと思ふ。

私が昭和十二三四年頃岡山市に關係を持つていた頃、市立幼稚園舎の新改築を數箇所行つた時に、適用して見て、此の設計が園舎として相當の反響を呼んだことを考え、今後新築される方々に多少でも參考となればと思ふのである。

二、考察の基礎

1 保育と學校教育との差異

園児の教育は小學校兒童の教育とは異り、保育はすべてが、園児の生活であり遊戯であつて、課業や作業ではないのである。よしんば或る種の目的を以て行う保育（設定保育）であつても、目的とする所は陰に隠れていて、表面は何處までも遊戯でなくてはならない。然るに従來の園舎は多くの場合、小學校の形を小さくした様なもので、園舎としての特別の考案が爲されたものは、極めて稀である。中には小學校の古校舎や附屬建物で間に合せているものさえあるという有様で、私は常に淋しさを持つていた。

2 廊下は何の役目を持つてゐるか

私は最初幼稚園を見た時、廊下というものの使用價値を考へた。小學校では毎時間の出入の際、多數の兒童が一時に通行するので、通路として意圖があるし、雨天の際の遊び場ともなり、戸棚や傘棚の置場ともなる。従つて教室を南側に取つて廊下を北側に取るのが普通の建築様式であ

る。

幼稚園では時間を切つての出入もなければ通路として廊下の必要も乏しい。寧ろ廊下があるのなら、保育の場所、遊び場所として利用しなくては意義が乏しい。茲に小學校の廊下と幼稚園の廊下との差異がある。序であるが小學校の教室と幼稚園の保育室との差異も考えられることを附言する。

そこで私はこんな事を考えた。

A、廊下を園舎の南側へ設けることにしたらどうだろう。

B、廊下も保育場と心得るなら幅一間という従来の設計を變えて幅を廣くしたらどうだろう。

C、廊下を保育場と考え幅を廣くすると、採光に不便であるから、此の點を改良して見よう。

こんな簡単な思付きから色々考案した結果次の様な設計を考えたのである。

三、園舎の新考案

新しく考えて見た案は大體次の様なものであつた。

1、廊下を園舎の南側に設ける

保育室は小學校の教室と異り、園児が保育室に居る時間は一日の中、極めて短時間に過ぎない。そこで廊下を南側に設けても、保育室として其の弊害は極めて少い。更に保育室は構造さえ考えるなら、採光という點では不備を免れ得るに相違ない。

2、廊下の幅を二間にする

遊び場とするには一間幅の廊下では狭くて不便である。そこで二間幅に廣げる。

そうすると保育室の採光に支障を生ずる。更に私は廊下一ばいに日光が射返む様にと考えたので、廊下の外側(南側)を窓にしないで、總硝子の引戸とする。且つ一年中の太陽の照射角度から見ても、冬季に廊下の一番奥まで射し込む爲めには軒の高さと小屋根の深さを加減して、一つは廊下の日當り具合に資し、一つは保育室の採光に便した。

3、廊下と運動場との關聯

廊下を遊び場とするなら運動場と一層深いつながりを保つことが必要である。そこで總硝子引戸の外を段々にしてままごと遊びの臺ともなり、上り降りの段でもあることにする。

4、廊下の兩端は締切り得る

廊下の兩端は壁か戸で間仕切となし得る様にして、冬分は之を締切り、引戸を締切ると、全く温室となる。此の中で遊べば冬の保育に持つて來いのものとなる。

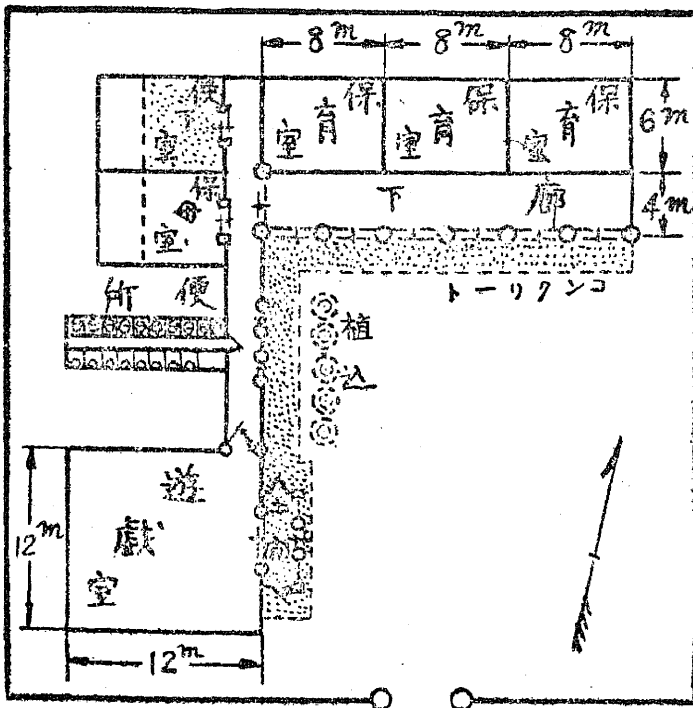
以上の様な構想で設計したのが次の圖の通りのものである。但し此の設計圖は、

定員 一二〇名 三組

保母 三名

使丁 一名

の幼稚園で、



保育室	三	各室 8m (約4間) × 6m (約3間)
遊戯室	一	12m (約6間) × 12m (約6間)
保育室	一	8m (約4間) × 6m (約3間)
使丁室	一	同上
便所	一	同上

という最も切詰めた設備としたものである。

(一) 配置圖

私の地方は春夏の季は東及南の風、秋冬の季は西及北の風が多いから、園舎の配置の上に於ても、それを最も留意して配置を考慮する。

使丁室は湯沸場を兼ね、保育室に衛生施設を附帯する。

廊下の南側の總硝子引戸の部分は、四米(約二間)置きに丸柱を立てる。(幼稚園舎の柱は主として丸柱とするか面を十分に取つた角の丸味を持つたものとする)が大切である)従つて柱と柱との間は一米幅の戸が四枚はまる。此の引戸は相當に重いから、敷居はレールとし戸車は玉入りとする。引戸は春夏の候は開放し、秋冬の候は締切る。

(二) 断面圖と正面圖

素人の圖で不合理な部分もあるが、要は南側の總硝子引戸と天窓とを可成的に大きく取ることが要件である。

尚總硝子引戸は最下の欄だけを板造りとすれば戸の強みが増すので板張りとする。

天窓は開閉の必要がないから、はめ込みとしたものである。

柱は四米置きに設け、面を十分に取つたものとするか丸柱とする。

廊下の床面は最初コンクリート造にしたが、やはり板張りの方が感じがよい。

保育室の窓の腰は高過ぎるよりは低過ぎる位の方がよい
 保育室の窓は出来る限り大きく取る事を考えなくてはな
 らない。

柱の周囲や廊下への取付け工作の細部は省略する。

木質部をペンキ塗とする場合は、壁の色、屋根瓦の色、
 等との調和を考え幼児の心理に合致して品よく感じよい明
 るい色合にする必要がある。

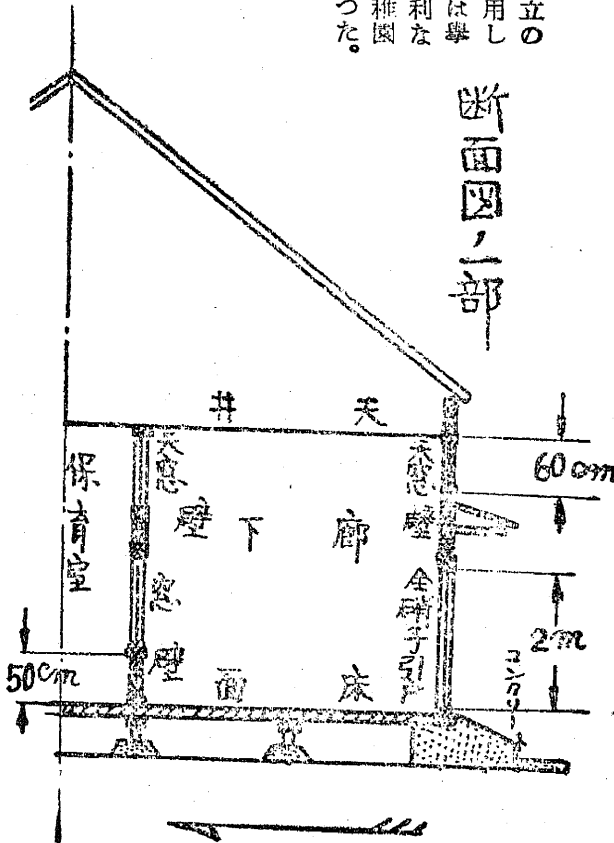
四、使用して見ての感想

右の設計によつて新築したものは當時岡山市立の
 幼稚園十五ヶ所の内六ヶ所であつたが、其の使用し
 て見た経験からの感想は、不便不利の點としては擧
 げられるものは無かつた。最初豫想していた有利な
 點は豫想以上に發揮されて、岡山市に於ては幼稚園
 建築の標準型ともいふべきものとなつたのであつた。

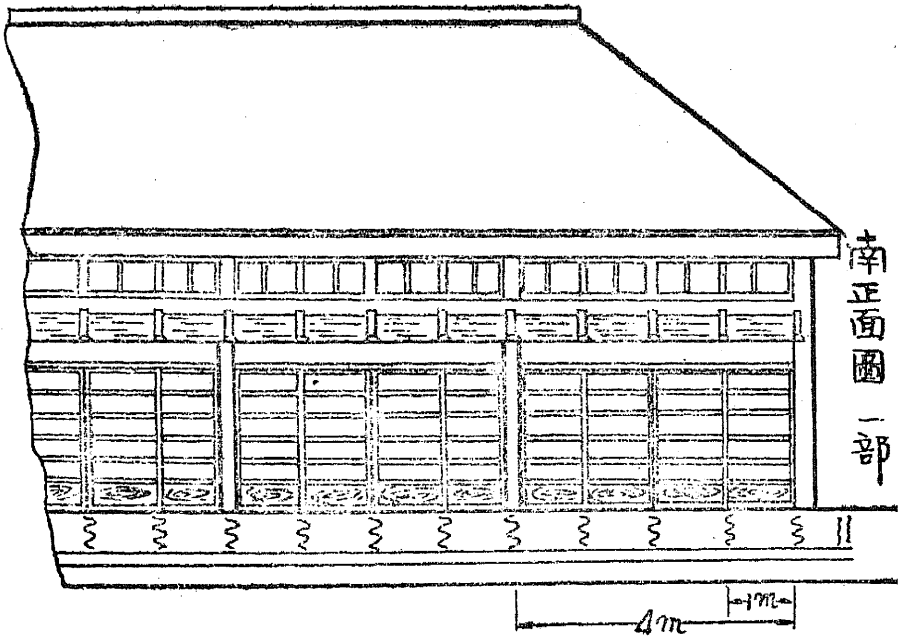
五、結 語

私の考えたのは園舎の構造といふものの
 る、主として廊下の構造に就いてのものであ
 が、小學校舎は相當に其の構造が考案されて
 いる今日、それよりもつと考慮が拂われな
 くてはならない園舎の構造が、案外等閑に附
 せられているのではあるまいか。保育は義務
 教育ではないが、教育の重要度からいへば、

断面圖ノ一部



より高い保育が義務制になつていないという事で、兎角輕視
 され勝ちである様に看取される。従つて園舎の如きも多くは
 古校舎や附屬建物の不用になつたもので間に合はしてゐる。
 それが無いよりはましではあるが、子供が幼小であらばあ
 るだけ、設備や環境を注意深く整えなくてはならない筈のも
 のである。そこで今後園舎の構造に新しい構想が續出する事
 を念願するものである。



(二六頁より)ですから、新しい保育に伴う新しいカリキュラムの立て方は、智識や技術を主としたものを項目別に上げるのではなく、その前に、先づ自分の受持っている子供の實際生活調査をして、子供たちの身體の發達、知的發達、情緒的發達、社會的發達など調査して、子供たちの概観をつかみ、幼稚園、保育所、又家庭などの生活環境や社會環境などの、外的條件と、それに保育内容の性格や價值などを考え合せて、カリキュラムが作らるべきであると思います。

新しい保育への轉換は、掌をかえすように、急激に出来るものではありません。山の雪が何時の間にか溶け、日増しに暖かになり、草が萌え出づるように、自然に行われるものと私は思います。

新しい保育とは、保母先生方の、その現場における毎日の實踐保育の反省の中に自然に生れ出づるものであります。即ち、保母先生方が、永遠に變らない保育の目標を旨指して毎日の保育を反省しつゝ實踐なさる所に、雄大な保育史の轉換が行われつつあるのです。

今年は西暦一九五〇年、子供の世紀と云われる二十世紀も早、半になん／＼としています。遅ればせながら、私達も重大な、保育史の轉換期に生れ合せ、保育の仕事にたづさわるものとして、大いに新しい保育への精進を続けましょう。保母先生方の、毎日の保育への反省が、明日の新しい保育を生み出すのです。御自重を祈ります。(厚生事務官)